

桃井小学校・中央小学校適正規模合同地区委員会だより

桃井小学校・中央小学校適正規模合同地区委員会 平成26年10月15日 No.2

第2回桃井小学校・中央小学校適正規模合同地区委員会を開催しました

桃井小学校、中央小学校の統合に伴う両校の第2回適正規模合同地区委員会が、9月22日(月)、市庁舎において開催されました。今回は、統合校の校名を中心に、地域の皆様からいただいたご意見を十分に考慮し、慎重に協議を行いました。主な内容は以下のとおりです。

○統合校の校名について

【各地区や団体からの主な意見】

- ・一番校としての桃井小学校の歴史を重んじるとともに、中央小学校の歴史も記録として残しておくなどの配慮をしたい。
- ・PTAの中には、校名は桃井小学校という意見と、両校を合わせた校名がよい等の意見があった。
- ・どちらの学校ということではなく、両校が新たな学校をつくるという意識が必要である。
- ・大切なのは、これから統合校としてどういう教育を進めていくかということである。
- ・学校を支える大きな地域の力を、統合後もしっかりとつないでいくことが大事である。
- ・(学校名を含めた)統合について子供たちにしっかり説明し、「新しくなることは未来が拓けること」という思いを伝え、家庭・地域・学校が協力して、いろいろなことを乗り越えさせていきたい。

【合同地区委員会としての考え】

- ・以下の理由により、統合校の校名を「前橋市立桃井小学校」とし、校歌・校章も現在のものを継承することで、合同地区委員会としての考えがまとまりました。

＜中央小学校創立の経緯＞

児童数増加によって、昭和32年、桃井小学校から中央小学校が生まれた。今回の両校の統合は、両校の児童数減少によって、また一つの学校に戻るという見方ができる。

＜歴史的背景＞

桃井小学校は、142年前に第一番小学校厩橋学校として開校し、その後、当時の県令により桃井小学校と校名が改められた。「群馬県で一番初めにできた、一番歴史のある学校」として、県内外にも広く知られており、現在では、初代県令である榊取素彦出身の山口県の小学校との交流活動が始まるなど、県下で最も歴史ある学校としての役割を果たしている。

＜統合のきっかけ＞

今回、両校の統合を検討するきっかけとなったのは現在の場所に桃井小学校の新校舎建設が決定されたことである。

- ・ただし、校名を桃井小学校とすることで、中央小学校の歴史が無くなってしまうということではありません。中央小学校がこれまでの歴史の中で築き上げてきた学校独自の特色ある活動は、統合校となった後も子供たちの活動を通してしっかりと継続されるものであります。そのため、新築される校舎に学校の歴史を物語る物品の展示スペースを設置することなど、これまでの貴重な教育活動の歴史や伝統が、いつまでも新しい学校の中で生き続けるよう要望していきます。

○今後の予定

- ・新校舎建設の参考とするため、地区委員による学校視察を行います。

(1)日 時：10月21日(火)

(2)視察校：埼玉県吉川市立美南小学校(施設見学と学校の概要説明)

※美南小学校は、平成25年度に開校した新しい学校です。学校の敷地内に、地区公民館、高齢者ふれあい広場、子育て支援センター、学童保育室があり、学校と地域の方々とが、施設の相互利用、共同利用を行っている学校です。

- ◆「前橋市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」「地区委員会だより」は教育委員会ホームページでご覧いただけます。
(<http://www.city.maebashi.gunma.jp/kurashi/230/257/004/p003248.html>)
- ◆合同地区委員会では、保護者や地域の方々のお考えを生かしながら、両校の円滑な統合に向けて協議を進めています。ご意見等がございましたら合同地区委員または学校までご連絡ください。
- ◆本紙の内容に関するお問合せは、前橋市教育委員会学校教育課教育企画係までお願いします。(TEL:898-5865・FAX:221-3418)